



上保 佳穂

総務部企画課長

主な経歴

- H6.4 入館
 - H17.10 総務部企画課(主査)
 - H20.10 関西館総務課(課長補佐)
 - H23.4 総務部企画課(課長補佐)
 - H23.10 電子情報部電子情報企画課(課長補佐)
 - H25.4 総務部主任参事
 - H27.4 利用者サービス部サービス運営課長
 - H28.4 国際子ども図書館資料情報課長
 - H30.4 利用者サービス部科学技術・経済課長
 - R3.4 総務部企画課長
- ※ H16.7-H17.9
ユニバーシティ・カレッジ・ロンドン大学院留学

これまでの経験を振り返って

現在、総務部企画課長として、館の将来計画の策定や活動実績評価に携わっています。当館の中期的方針を示すビジョン「国立国会図書館ビジョン 2021-2025—国立国会図書館のデジタルシフト—」を館内外に周知し、サービスや業務の実績を把握・評価し、次の企画立案や活動の実施に生かすというサイクルで、目標の達成を目指しています。当館全体の活動に目配りする必要があり、これまでの多様な業務経験が役立っています。

当館の事業を推進し、将来の姿を描くためには、外部状況の把握や関係者との協力も重要です。ビジョンの重点事業の一つである「読書バリアフリーの推進」は、視覚障害者等の読書環境の整備を推進するもので、学術文献のテキストデータの作成・制作支援に館として力を入れています。企画課では、電子書籍のアクセシビリティの向上支援に取り組んでおり、当事者を始め関係者の意見や要望を汲み取りながら進めています。また、前職の科学技術・経済課長の時には、科学技術情報整備審議会の運営を担当していましたが、科学技術情報整備の在り方に対する有識者の広い視野や深い学識に触れ、感銘を受けました。立場や視点の異なる多くの声を聴くことの大切さを感じています。

また、当館は日本の唯一の国立図書館として、国内で前例のない課題にも対処しなければなりません。国際的な情報収集や意見交換のため、語学力を備えると引き出しが大

きくなります。留学や海外出張を経験しましたが、海外の図書館とのつながりができ、相談しあえる関係になれたのは大きな助けになっています。

国立国会図書館を志望する方へ

職員には、多様な文化資源を扱う専門性と、他者の声に耳を傾け、未知の課題に開かれた心を持って挑戦する姿勢を備えてほしいと思います。「図書館は成長する有機体である」(Ranganathan)。デジタル変革がもたらす新しい時代を共に成長していきませんか。



オンライン会議に出席



川西 晶大

調査及び立法考査局外交防衛課長

主な経歴

- H7.4 入館
 - H18.7 調査及び立法考査局外交防衛課(主査)
 - H20.4 総務部企画課(課長補佐)
 - H22.4 同 総務課(課長補佐)
 - H26.4 収集書誌部収集・書誌調整課(課長補佐)
 - H28.4 調査及び立法考査局行政法務課長
 - R2.4 同 外交防衛課長
- ※ H12.4-H14.3 文部省に出向

私の仕事

外交、防衛分野の立法調査業務を担当する管理職をしています。

立法調査業務とは、国会議員からの依頼を受けて回答するために、あるいは今後国会で話題となるであろうテーマについて刊行物を作成するために、本や新聞、雑誌、データベース、インターネット情報などを使い、調査する仕事です。調査に当たっては、調査員が、日々蓄積する知識に基づいて情報を中立的な立場から取捨選択し、整理し、提示することが求められます。

総合調査の経験

立法調査業務の一つに、総合調査という取組があります。総合調査とは、毎年設定される分野横断的なテーマ(例えば「証拠に基づく政策形成」「岐路に立つEU」など)の下に、参加する調査員がチームとして調査しながらそれぞれの担当分野に関する記事を執筆し、報告書を刊行するものです。私が課員時代に参加した総合調査では、そのテーマに精通されている大学教授が客員調査員として参加されており、執筆内容に関し、大局的な視点から指導を頂きました。その記事は国会議員の方々を含めて広く読まれ、また、私自身の知見も広がったように思います。

現在は、管理職として総合調査の運営にかかわっていま

す。国会の活動に役立つ成果を出すのはもちろん、総合調査に参加する調査員が、局内での研修や日々の経験に加え、客員調査員の先生の指導を受けて、今後の調査に必要な技能を磨き、知識を蓄えることができるように努めています。

国立国会図書館を志望する方へ

立法調査業務に限らず、およそ国立国会図書館の仕事は、国会、そして国民のための知的基盤として、様々な情報を集め、整理し、提供することです。情報の形や流れが変われば、集め方も変えなければなりません。多くの情報が簡単に手に入るようになれば、情報を見極める力がさらに必要になります。時代の変化に対応して、自らの知識や技能を高め、情報の波に取り組んでいこうと考える皆さんと一緒に働けるのを楽しみにしています。



部下と連携して依頼に対応